

通信添削講座 練習問題 解題

「夫婦が営む建築設計事務所を併設した住宅」

練習問題 3

設計主条件

- ① 敷地の有効利用
長方形ではなく、東側が広がっている台形の敷地です。建物形状や屋外施設の計画において、この形状を上手く利用するとベターです。
- ② 出入口の分離、2階で行き来
出入口と行き来は今年の課題のポイントです。きちんと守るようにしてください。
- ④ 車庫を設け、居間から車を眺める
特に問題はないと思いますが、窓の大きさが指定されています。気を付けてください。
- ⑤ 屋外階段
可能性はとても低いですが、過去において出題されたことがあります。

(1) 敷地

形状が長方形でないことにはすぐに気が付いたと思いますが、北側の森林には気が付いたでしょうか。

記載が隣地や住宅地でない場合は、何かプランニングに関係する可能性が高いです。見逃さないようにしてください。

(2) 構造、階数、建築物の高さ等

屋外階段を設けること。それと、平家部分、寄棟屋根にチェックが必要です。

屋外階段は、床面積には算入しませんが、建築面積には算入します。参考プラン図では、階段部分の面積は 1.365×5.460 となります。

(屋外階段の描き方は3ページを見てください。)

(寄棟屋根は基本課題を参考にしてください。)

(5) 要求室

設計事務所部分が2階となっていて、1階は全て住宅部分です。このような設定になる可能性はとても低いと思いますが、どのような条件設定だとしても、冷静に判断できるようになってください。いつもと違うなと思ったら要注意です。

居間と車庫の間に設ける窓ですが、1,800 mmの幅を確保するためには、柱心々で 2,275 mm以上が必要です。1,820 mmでは、柱の内側に 1,800 mmの窓は入りません。

2、要求図書

部分詳細図

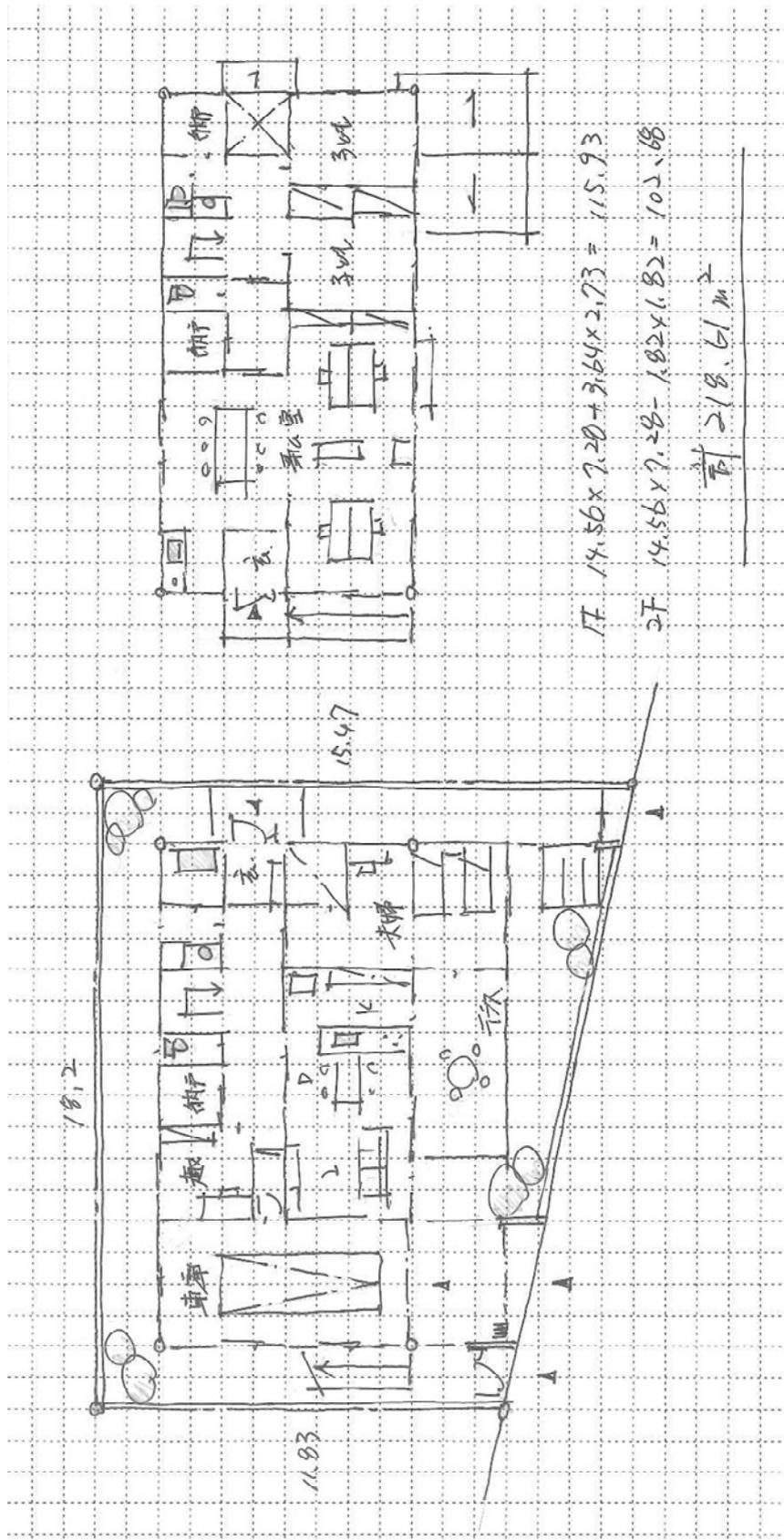
第二課題と作図位置は同じですが、記入が要求されている部材が少し違います。気が付きましたでしょうか。

違う部分は、管柱及び野縁の名称と断面寸法です。管柱は伏図と同じで 120×120 、野縁は 45×45 と記入しておいてください。

ちなみに野縁は、天井のボードを張るための下地材です。

要求図書の特記事項は、本番でも必ずどこかが違います。その違いに気が付き、解答に反映させることが重要です。

プラン図



屋外階段

